

令和 4 年 4 月 18 日

< ワンポイント・レッスン（理論・基礎知識） >  
（年齢構造指数）

新型コロナショック後の景気回復状況、外国との比較などを見ていると、人口オーナスが気になるところです。今回は、「年齢構造指数」。総務省統計局の「人口推計」2022年（令和4年）3月報から、<参考>として〔各国の年齢3区分別人口〕が掲載されていました。

なお、年齢構造指数は、以下の通り

- ・年少人口指数=15歳未満人口/15～64歳人口×100
- ・老年人口指数=65歳以上人口/15～64歳人口×100
- ・従属人口指数=（15歳未満人口+65歳以上人口）/15～64歳人口×100
- ・老年化指数=65歳以上人口/15歳未満人口×100

以下、人口4000万以上の国が掲載されていましたが、任意に抜粋しました

（年齢3区分別人口）

	人口	総人口に占める割合（%）		
	総数（千人）	15歳未満	15～64歳	65歳以上
中国	1,412,600	18.6	67.2	14.2
米国	327,167	18.6	65.4	16.0
日本	125,502	11.8	59.4	28.9
ドイツ	83,155	13.8	64.2	22.0
フランス	67,407	17.8	61.5	20.7
イギリス	67,081	17.9	63.5	18.6

調査時点は、同時点ではありません。

年齢構造指数				
	年少人口指数	老年人口指数	従属人口指数	老年化指数
中国	27.7	21.1	48.8	76.3
米国	28.5	24.5	53.0	86.1
日本	19.8	48.6	68.5	245.0
ドイツ	21.5	34.2	55.7	159.2
フランス	28.8	33.7	62.5	116.7
イギリス	28.1	29.4	57.5	104.5

出典：「人口推計」総務省統計局ウェブサイトサイトより抜粋・引用

日本の総人口は、2008年にピークとなり、2011年以降11年連続で減少。2021年は▼64.4万人の減少で、減少幅は1950年以降過去最大となっています。

（了）